

編集後記

2009 年もいよいよ年の瀬を迎えています。巷間でも一年を締め括る催しも行われています。ベストセラーの本、話題となった流行語、評判を得た演劇・映画・歌謡・ファッションなども発表されました。各スポーツ界の分野でもそれぞれの年間優秀成績をあげたプレイヤーの顕彰もなされています。厳しい世相の中、立派な活躍をして、老若男女に感動を与えたことは賞賛に値しましょう。

慌しい中、本研究所の所員もそれぞれの研究分野で成果をあげたことと思います。

本号では二論文を掲載しております、菊地健三論文はカントの「自然の形而上学」における「動力学」、および前提となっている「物質の固有力」「根源力」としての「引力一斥力」についての理解等を究明しています。

寺尾格論文は、ドイツ演劇論です。「食べる」「聖書」「肉」「パン」「身体」「骨」「糞」「廃棄物」「排泄物」「人間嫌悪」等のタームが飛び交います。演劇言語を身体感覚的に再構築する、という点を注視しています。 (こ)

執筆者紹介 (アイウエオ順)

菊地 健三 経済学部教授

寺尾 格 経済学部教授

専修大学人文科学研究所月報

第 242 号 (2009. 12. 15)

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

専修大学人文科学研究所

発行者 内藤 雅雄